

2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議（第4回）
議事録

日 時：令和8年3月19日（木）17:10～17:30

場 所：官邸4階大会議室

出席者：木原 稔	内閣官房長官
金子 恭之	国際園芸博覧会担当大臣・国土交通大臣
鈴木 憲和	農林水産大臣
林 芳正	総務大臣
小泉 進次郎	防衛大臣
牧野 たかお	復興大臣
平口 洋	法務大臣
あかま 二郎	内閣府特命担当大臣（防災）・国家公安委員会委員長
堀井 巖	外務副大臣
中谷 真一	財務副大臣
中村 裕之	文部科学副大臣
井野 俊郎	経済産業副大臣

（議事録）

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ただ今から、「2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議」の第4回会合を開催いたします。本日はプレスにも入室いただいております。

本日で、横浜グリーンエキスポの開幕まで、いよいよ1年となり、午前中には、グリーンエキスポ協会の主催で、1年前機運醸成イベントも開催されました。オールジャパンでの成功に向け、さらに準備に万全を期し、機運を高めていくべく、関係閣僚会議を開催することとしました。

まず、議題（1）の「横浜グリーンエキスポが目指す姿と準備状況について」、私からご説明いたします。

資料1の1ページをご覧ください。横浜グリーンエキスポでは、まず、みんなが「楽しめる万博」を目指します。「観る」「触れる」「食べる」という観点から、花と緑、エンターテインメント、グルメ等のコンテンツを充実させ、日本らしい文化やライフスタイルを発信します。

また、近年の環境を巡る国際的な潮流を踏まえ、「グリーン技術の産業見本市」として、国際レベルでのビジネスマッチングを図り、成長投資につなげてまいります。

2ページは、会場のイメージの紹介です。1千万株の花とみどりが来場者をお迎えし、令和日本の庭、日本の伝統的な庭屋一如の空間、宮内庁秘蔵の盆栽など、他では体験できないコンテンツを用意します。夜には、幻想的な灯りの中で夜風を浴びる庭園散歩を楽しんでいただけます。

3 ページをご覧ください。本日から、公式チケット販売サイトにおいて、前売り入場券の WEB 販売が開始されます。前売り券は大人 4,900 円と、会期中よりも 1 割安くお求めいただけます。6 回以上通うことでお得になり、会期中の季節毎に織りなす、様々な花の風景を楽しんでいただくことができる、「通期パス」なども用意しました。多くの方にご購入いただけるよう、協会と力をあわせ、販売促進に努めてまいります。

4 ページをご覧ください。出展関係については、参加する国・国際機関が、政府目標の「70 程度」を上回る見込みとなりました。皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、着実に各国の出展が実現されるよう、参加契約や展示の整備について、しっかりとフォローしていきたいと思っております。また、企業出展では、後ほど協会から説明がありますが、内定している 16 社全てのパビリオンの概要が公表されるに至っております。次に、協会の体制強化についてです。皆様のご協力により、本年 4 月からは、約 460 名体制まで拡充できる見込みとなっております。引き続き、博覧会運営に必要な 500 名規模への拡充に一層努めてまいります。一方、コンテンツ充実には不可欠な企業協賛は、一定の進捗はあるものの、まだまだ不十分です。こうした中、国交省では、次官、国土交通審議官、技監を筆頭に各幹部が、関係業界に横浜グリーンエキスポの意義を直接、対面で説明し、コンテンツ充実に向けた、企業協賛等のお願いをしています。こうした対面でのトップセールスは、一定の成果を見せており、関係府省庁とも連携して、更に働きかけを強化してまいります。開催機運の醸成については、本日午前中の 1 年前イベント等の取組をはじめ、鉄道駅や空港など利用者の多い施設でのポスター掲示、海外向けプロモーションなどを進めています。今後は、更なるグリーン技術の展示・実証などによるコンテンツの充実とあわせて、有名人等による一般向けの戦略的な PR を拡大し、広域的な機運醸成を図ってまいります。

担当大臣として、残り 1 年、開催に向け、全力で取り組んでまいりますので、政府各位、自治体、経済界の皆様におかれましては、格別なご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

私からの説明は以上です。次に、グリーンエキスポ協会 河村事務総長から、ご説明をお願いします。

○河村 グリーンエキスポ協会事務総長 GREEN×EXPO の開催・成功に向け、オールジャパン体制でのご支援・ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

本日より入場券の前売り販売を開始しております。多くの方にご来場いただけるよう、プロモーションに一段と取り組むとともに、入場券の販売促進について、経済界や政府の後押しをいただきながら全力を挙げて取り組んでまいります。

本日午前中の記者発表会では、ミュージシャンの「ゆず」さんに新しい公式アンバサダーとして参画いただくことを発表しました。コラボレーションソングも作っていただき、グリーンエキスポの魅力を発信いたします。博覧会を共に創っていただくパートナーの準備状況について、まず開催自治体である横浜市、神奈川県におかれましては既に出展構想を公表いただいております。国際出展については、金子大臣のお話のとおりです。新たな参画について、特別協

力パートナーとして日本財団様、大型協賛者として3者を公表させていただきました。

出展構想について、新たに19者の準備状況を公表いたしました。概要をご紹介します。資料2の2ページをご覧ください。企業によるグリーンの力と産業活動が融合した姿を示す、いわゆるVillage出展です。自然と都市が融合する新しいライフスタイルを提案する施設や、子どもたちが自然と親しみながら遊び学べるエリアなど、グリーン社会の未来が体験できるコンテンツが検討されています。

3ページをご覧ください。食と農、自然との関わりに触れる体験を経て博覧会のコンセプトを発信する、4者の企業等によるテーマ営業出店の準備が進んでいます。

4ページをご覧ください。あわせて381者による花や緑の出展が行われ、ここでしか見られない庭園や花壇、生け花、フラワーアレンジメント、盆栽など、花と緑のプロフェッショナルが美と技術の競演を展開します。

5ページをご覧ください。自治体からの出展について、全都道府県、全指定都市を含む74自治体による出展が内定しており、全国の名物を活かした出展が検討されています。

6ページをご覧ください。大型協賛の内定者により会場を一望できる木製テラス、健康や地域の魅力を体験できるサードプレイスの準備が検討されています。

会場に広がる景色が目浮かぶような準備が進んでいるところですが、博覧会の魅力をさらに高めるため、夜間演出や、技術展示、イベントなど、多くの企業の皆様からの協賛が必要です。グリーンや環境に関する理念、技術を有する企業の更なるご参画に向けて、取り組みを続けてまいります。

最後に7ページをご覧ください。開幕1年前プロモーションとして、シティドレッシングの展開や、都内・首都圏でのラッピングトレインを運行しております。また、オフィシャルストア・公式ライセンス商品の展開も拡大しております。

残り1年間総力を挙げ、準備を加速させてまいります。政府・関係者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。

それでは、次に、「最先端のグリーン技術の発信など、魅力向上に向けた関係省庁の取組について」、まず私から、国土交通省の取組をご説明し、その後、順次説明をお願いしたいと存じます。

資料3の1ページをご覧ください。国土交通省は、日本政府としての公式出展となる「日本政府苑」の屋外を担当します。雨水の貯留・循環だけで水景を演出するなどの様々なグリーンインフラを配置しつつ、日本の自然観をテーマにし、人と自然が共生した里山の風景を再現します。屋内については、鈴木農林水産大臣からご説明いたします。

2ページをご覧ください。このほか、会場内で予定する展示等の一部をご紹介します。

左上ですが、エクスポ会場のパビリオンや植栽をリアルに再現する3D都市モデルを構築し、四季折々の会場内を、ドライブや空中散歩できる体験を提供いたします。また、右上にあるとおり、会場内にあるグリーンインフラを、スマホで判別・解説するアプリを開発し、冒険ゲームのように会場を巡り、楽しみながら自然の力を学べます。このほか、EVの自動運転車両や下

水汚泥資源の肥料利用など、最先端技術の導入・発信を進めます。

私からの説明は以上です。次に、鈴木 農林水産大臣、お願いします。

○鈴木 農林水産大臣 農林水産省では、国土交通省と共に取り組む日本政府苑について、屋内展示の準備を進めています。

日本政府苑では、「日本の自然観を再考し、未来へ進む」というコンセプトの下、前半の西館では、「日本の原風景を巡る旅」として、日本の全国各地の春夏秋冬を五感で感じる体感型シアターを堪能していただきます。そして、「自然との対話が昇華した文化」として、こうした自然の恵みが発展した、日本ならではの文化の極みである庭園、宮内庁所蔵の盆栽、各流派の家元によるいけばななどの鑑賞を通じて、長い歴史に育まれた自然と共生する日本の姿を体感していただくこととしています。資料の下半分をご覧ください。こうした自然環境は現在、気候変動等の地球規模の課題に直面していますが、成長投資による我が国の最新技術でこれに対応し、持続可能な社会を実現することを示すため、後半の東館では、完全閉鎖型植物工場、陸上養殖、3Dフードプリンターなどのフードテックのほか各府省庁が所管する技術も含めて、「みどりで実装する、自然共生の明日」として展示します。さらには屋外の実践フィールドにおいて、ペロブスカイトや有機薄膜の太陽光電池を用いたゼロエミッションハウスや国産農業用ドローンなど、日本政府苑全体において最先端の環境・農業・食品技術を発信し、地球規模の課題を解決する「新技術立国」の姿を提示してまいります。

次のページをご覧ください。農林水産省では、横浜グリーンエキスポの魅力向上に向け、政府苑だけでなく会場全体を活用して、「食べる」「体験する」「学ぶ」の3つのアクションに関するイベントや展示を検討しています。季節に合わせた全国の日本酒飲みくらべや、抹茶や米粉など輸出拡大にも繋がるお菓子コンテストのほか、最新のデジタル技術で都会のオフィスでも体験可能な森林浴、和食文化の紹介による伝統文化の発信など、各府省庁や関係団体・企業、グリーンエキスポ協会と連携しながら検討を進めてまいります。

これら検討に当たっては、若手職員を中心に横浜グリーンエキスポの機運醸成を進める省内チームも参加して進めています。本日、皆様のお手元には、若手が心を込めて折ったトウク トウクの折り紙を置かせていただいているので、是非お持ち帰りいただければと思います。私もこのメンバーとのSNS コラボなども通じて、一層の機運醸成に取り組むとともに、より多くの企業に横浜グリーンエキスポにご協力いただけるよう、農林水産省では政務三役が前面に立って協力をお願いを呼びかけてまいります。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に、井野 経済産業副大臣、お願いします。

○井野 経済産業副大臣 経済産業省及び国際博覧会担当として、一言申し上げます。当省は、大阪・関西万博で得られた知見やノウハウを「横浜グリーンエキスポ」の関係者と共有するなど、開催準備に協力しています。

まず、機運醸成については、先月から今月にかけて、東京・福岡・札幌・仙台でイベントを開催

し、17,000人を超える方々にお越しいただき、会場では「横浜グリーンエキスポ」のプロモーションブースを設けPRが行われました。また、来年4月に開催する大阪・関西万博の開幕2周年イベントを「横浜グリーンエキスポ」の会場内で開催することとしています。

次に、「横浜グリーンエキスポ」の内容の充実に向けては、前回万博での経験も踏まえ、①福島復興に関する情報発信、②伝統的工芸品の展示・製作実演等、③カーボンニュートラル・脱炭素社会、④サーキュラーエコノミーに関連する技術の展示等の検討を進めています。更に、日本が誇るペロブスカイト太陽電池を衣服に搭載したスマートウェアの実証・実装等について、関係府省庁と連携して検討しています。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に、小泉 防衛大臣、お願いします。

○小泉 防衛大臣 防衛省は、グリーンエキスポが開幕する1年後の令和9年3月19日に会場上空で航空自衛隊ブルーインパルス機の展示飛行を行うことを今月上旬に発表しました。先日、私も宮城県の松島基地を視察した際に、ブルーインパルス機に搭乗し、大変感銘を受けました。このブルーインパルス機の飛行が、横浜グリーンエキスポの開幕に花を添えるに相応しいものになると確信しています。

また、当日のブルーインパルス機の飛行のみならず、事前告知やPRを通じて、横浜グリーンエキスポの機運醸成に努めてまいります所存です。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に、牧野 復興大臣、お願いします。

○牧野 復興大臣 復興庁では、「東日本大震災からの復興状況の発信」を行うため、およそ1週間の出展を予定しております。展示内容は、東日本大震災及び復興の概要、被災地における復興のストーリーを伴った花卉・園芸に関する取組や復興祈念公園といった復興に関連するグリーンインフラの展示に加え、復興庁のブースに足を運んでいただくための施策として、被災地の草花を使用したワークショップの実施や、被災地を中心とした東北3県の見どころを紹介する小冊子の作成を検討しております。横浜グリーンエキスポにおける出展を通し、実際に被災地に足を運んでいただくことで、被災地のさらなる復興の一助になればと考えております。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に、堀井 外務副大臣、お願いします。

○堀井 外務副大臣 外務省は、海外からの参加招請に鋭意取り組んできており、参加国・国際機関数は目標の70を上回る見通しになりました。引き続き、着実に出展準備を進めてまいります。

また、集客力向上の観点から、魅力ある企画作りも進めており、持続的な森林管理やマング

ローブ林保全など、既存のODA事業をテーマに、相手国の関係者も参加するセミナーの開催などを検討しています。さらに、在外公館を利用した海外での機運醸成、開催期間中の各国賓客の受入れ準備についても、関係省庁等と連携しつつ取り組んでいく考えです。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に中谷 財務副大臣、お願いします。

○中谷 財務副大臣 財務省及び国税庁の取組について説明いたします。日本産酒類は、日本各地の気候風土を反映し、穀物や水などの環境を維持しながら造られており、これが横浜グリーンエクスポの理念等に一致することから、この日本産酒類の文化的価値を広く国内外へPRしていきたいと考えています。開催期間中に、ユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的酒造り」やその担い手である酒類製造者の紹介などの取組を行い、日本産酒類の魅力を発信してまいります。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に中村 文部科学副大臣、お願いします。

○中村 文部科学副大臣 文部科学省としては、横浜グリーンエクスポの成功に向けて、担当省庁と連携し、開催準備及び機運醸成に貢献してまいります。

例えば、「日本博」を活用して、インバウンドが日本の文化芸術やコンテンツを実際に体験できる企画、日本の文化財について、その自然との関係性や関わりについて理解を深めるようなイベントを検討しています。

また、環境問題を解決し、持続可能な社会に向けて学びあう場を創出する「グリーン共創EXPO2027」、持続可能な未来を支える革新的な断熱材技術の展開や社会実装についてのパネル展示、大阪・関西万博にも出展し、好評を博した「AIスーツケース」の活用、横浜市、相模原市パビリオンへの宇宙関係の展示協力、その他、地球規模の課題解決や防災に関する最新の科学技術を用いた展示についても、現在検討しています。

引き続き関係府省庁と連携し、取り組みを進めてまいります。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。

(欠席であった石原 環境大臣の発言を紹介)

○石原 環境大臣 環境省においては、横浜グリーンエクスポが掲げる「気候変動や生物多様性の損失などの地球規模の環境課題の解決」に貢献するため、我が国が有する優れた新技術を積極的に発信してまいります。

例えば、熱中症対策にも役立つ、ペロブスカイト太陽電池搭載のスマートウェアをスタッフに着用いただくほか、人工光合成などの新技術について分かりやすく発信するとともに、最寄

駅から会場まで来場者を輸送するための国産 EV バスの導入支援について、関係省庁とも連携して進めてまいります。

併せて、我が国の美しい国立公園の魅力や、サーキュラーエコノミーへの移行について発信してまいります。加えて、福島環境再生といった幅広いテーマについても発信すべく、検討を進めてまいります。引き続き、関係省庁等とも連携して、横浜グリーンエキスポの魅力向上につながるよう、取組内容の更なる具体化、準備を進めてまいります。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 次に、「出席者からのご発言」をお願いしたいと思います。まず、横浜市 山中市長、お願いします。

○山中 横浜市長 昨年12月の関係閣僚会議に引き続き、政府を挙げて開催準備を進めていただいていますこと、心から感謝を申し上げます。現在、ホストシティとして、全庁をあげて、準備を進めているところです。横浜市は、英知を集めた建物の出展、また、会場で最大級となる環境体験型フィールドなど、来場者のワクワクと驚きの出展を行います。

また、子供たちに貴重な経験をしてもらうために、市内に約500の市立学校があるのですが、全校招待する予定です。また、それ以外にも私立に通われているお子さんや未就学児のお子さんもいらっしゃいます。市内に46万人子供がいますので、すべからく皆さんをご招待したいと思います。

また、本日前売りチケットの販売が始まりました。横浜市は、前売りチケットをふるさと納税の返礼品に追加します。

機運醸成と来場の促進については、市内経済界、関係団体とも連携し、オール横浜で取り組んでいくとともに、全国の自治体の皆様に対しても、あらゆる機会での協力をお願いしてまいります。

笑顔溢れる万博を市民や企業の皆様とともに創り上げていけるよう、ホストシティの長として、全力で取り組んでまいります。

引き続き、国や協会、経済界との強固な連携の下、取り組んでまいりますので、政府の力強いご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に、神奈川県 黒岩知事、お願いします。

○黒岩 神奈川県知事 開幕まで、いよいよあと1年となり、神奈川県では、機運醸成の取組や県出展のほか、観光振興や交通対策など、様々な準備を本格化させています。

まず、機運醸成については、グリーンエキスポをPRする絵本を2年の構想をかけて作り上げました。これを全小学校、幼稚園、図書館等に配布し、この絵本を持って私自身が神奈川県を飛び出して全国行脚してPRに努めていきたいと考えている。また、先ほど鈴木大臣からご紹介があったトウクトウクの折り紙については、話を聞いてみると、この折り方は、大阪・関西万博で万博が好きになり、グリーンエキスポを応援したいという気持ちで折り紙を始めら

れたという、生活することに困難を持っていらっしゃる 20 歳の女性が考えたということでありました。これを皆で折る流れを作って「マイトゥンクトゥンク折り紙プロジェクト」のような形で、どんどんこのトゥンクトゥンクを活用していきたいと考えています。

また、県の出展については、独自の屋外庭園や屋内展示施設を作り、県政の基本理念である「“Vibrant INOCHI” 一人ひとりのいのちが輝く」を発信していきます。屋内展示では、着席型のシアターをメインに据え、かわいらしいキャラクターも登場させながら、来場者参加型の映像コンテンツを用意し、これによって“Vibrant INOCHI”を体感いただくことを考えています。また、主催事場で上演するオリジナルミュージカルについても、着々と準備を進めておりまして、今日ちょうど脚本の第一号ができあがってまいりました。そして、この中のメインテーマの曲を作って、これを先出しして皆で歌って踊る動画を作って、かつての「恋するフォーチュンクッキー」のような形で、皆で参加して盛り上げていきたいと考えています。グリーンエキスポが開幕したら、そのミュージカルのメインテーマを皆が知っていて、そこに列が並ぶような、グリーンエキスポの目玉にしたいと考えており、ずっと準備をしてきたところですが、これからいよいよ総仕上げに入っていくということでもあります。

神奈川県としては、その他、前売り入場券については、経済団体だけではなく、県の農業、環境、観光、建設、医療、福祉など、様々な関係団体に幅広く声を掛け、皆で盛り上げていきたいと考えております。

また、神奈川県独自で作っている 神奈川県ゆかりの多くの有名人ができあがっている「GREEN×EXPO 2027 応援団」をフル活用して、皆で盛り上げ、皆で作って、皆で参加するこのグリーンエキスポを開催地としてしっかりと頑張っていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に、日本経済団体連合会及びグリーンエキスポ協会 筒井会長、お願いします。

○筒井 日本経済団体連合会及びグリーンエキスポ協会会長 横浜グリーンエキスポの開催までちょうど1年前となる本日、関係閣僚の皆様から、まさにオールジャパン体制での取組について進捗をお伺いでき、大変心強く感じております。

国家的プロジェクトである横浜グリーンエキスポの成功に向け、協会として、開催準備に全力を尽くしております。そして、経済界といたしましても、会場建設費の寄附、協会の体制強化への支援、全国的な機運醸成、入場券の販売促進、協賛や会場実装等を通じた我が国の技術力の発信などに関して協力を進めてきております。

本日を節目に、これまで以上に、精力的に取組を進めてまいり所存です。引き続きご関係の皆様からのご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。次に、横浜商工会議所 上野会頭、お願いします。

○上野 横浜商工会議所会頭 横浜商工会議所といたしましては、現在、会場建設費の寄付につきまして、神奈川県下商工会議所と連携し、約 30 億円の目標に対しての目途を付けることができました。

また、GREEN×EXPO 協力推進委員会を立ち上げ、ターミナル駅などでのカウントダウンボードの設置やデジタルサイネージを活用した PR 活動など、横浜で開催される国際博覧会としての機運醸成に取り組んでおります。

入場チケットの販売が開始となり、グリーンエキスポの開催を機に多くの方に横浜に足を運んでいただき、楽しんでいただけるよう、地元経済界として販売促進や観光連携にしっかりと取り組んでまいります。前売りチケットにつきましても、神奈川県下商工会議所と横浜商工会議所で約 25 万枚の購入を決めました。更なる販売促進を進めていきたいと考えているところでございます。

また、グリーンエキスポの開催が、地元企業の国際的な PR にもつながるよう、グリーンや環境に関する魅力的な技術を有する企業の参加について、地元経済界として一層の働きかけを行ってまいります。横浜・神奈川の経済界だけでなく、全国 515 商工会議所、会員 126 万事業所のネットワークを最大限に活用し、全国的な機運醸成・販売促進を、横浜商工会議所が先頭に立って強力で推進してまいります。

○金子 国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。その他、ご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

それでは最後に、木原 官房長官から締めくくりのご発言をいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

○木原 官房長官 横浜グリーンエキスポの開幕まで、本日であと 1 年となりました。前売り入場券の販売も始まりました。午前中には、公式アンバサダーの芦田愛菜さん、そして、新たに任命された、神奈川に縁のあるゆずのお二人にもご参加いただき、機運醸成イベントが開催されました。

政府の方でも、本日、関係大臣、自治体、民間団体の方々にご参集いただき、出展状況や協会の体制強化、機運醸成等について、これまでの準備状況と今後の課題を共有しました。

本日明らかになったように、基礎的な準備は着実に進んでおります。本当にありがとうございます。

その一方で、コンテンツの充実や機運醸成をはじめ、取組はまだ道半ばであり、大成功に向けて、ギアを一層あげていかなければなりません。

国際出展については、目標の 70 カ国を達成する目処が立ちましたが、今後、参加契約や展示準備を遅滞なく進めていく必要があります。このため、国土交通省が進捗管理を行いながら、外務省と連携し、各国への働きかけを強化してください。

協会の体制強化については、500 人規模への拡充に向け、一定の目処がつけましたが、企業協賛については、現時点ではまだ十分とは言えません。金子大臣から話があったように、国交省のみならず、各省でも、幹部が先頭に立って、関係業界に本博覧会の意義を説明し、協会に

よる協賛獲得につなげてください。また、経済界におかれては、協賛、人材派遣、入場券購入について、会員企業に対して強力な働きかけを行っていただくよう、お願いいたします。

コンテンツについては、中身が徐々に明らかになってくるにつれ、期待が膨らんでおります。協会におかれては、来場者のニーズを踏まえ、エンターテインメントやグルメの要素を充実させるなど、中身の磨き上げを強化し、多くの方が「楽しめる万博」にさせていただけたらと思います。加えて、グリーン技術の産業見本市とするためには、官民の連携が重要となります。各省が知恵を絞り、技術の発掘と協賛獲得に取り組み、成長投資につながる展示・イベントを考えてください。

機運醸成については、本日午前のイベントを嚆矢とし、SNSを積極的に活用しながら、戦略的なPRをお願いします。その際には、認知度の定点把握など、民間の知見を活用し、エビデンスに基づいて取組を進めるようにしてください。また、地元首長である黒岩知事と山中市長におかれては、協会の体制強化や機運醸成に多大なご尽力をいただいております。この機運醸成の動きを、さらに首都圏、そして全国へ広めるためにも、先ほどお話があったようなリーダーシップを是非発揮していただけるようお願いいたします。

最後に、実施主体である協会と国・地方・民間の連携強化についてですが、協会におかれては、宇野補佐官とも相談しながら、連携強化の枠組みを作ってくださいよう、お願いします。

何よりも横浜グリーンエキスポの成功のため、ちょうど1年後の開幕に向け、オールジャパン体制で、全力で取り組んでまいりましょう。よろしくをお願いいたします。

○金子国際園芸博覧会担当大臣 プレスの方の退室をお願いいたします。

(報道関係者退室)

○金子国際園芸博覧会担当大臣 ありがとうございます。本日の会議はここで閉会とさせていただきます。

(以上)